

# デジタル電圧コントローラー、DVC 310

発電機のパフォーマンスを改善



SHUNT、AREP、PMG励磁のオルタネーター用に設計されたDEIFのデジタル電圧コントローラー、DVC 310は、オルタネーターの出力電圧を監視・調整するデジタル自動電圧レギュレータです。コントローラーは発電機のパフォーマンスを向上させることが可能で、最大10%の負荷性能を高め、不可欠な電力、IPP、レンタルセグメントにおけるあらゆるアプリケーションに適しています。制御改善によって特にメリットが生じるのは、励磁前に閉鎖のシーケンスにおける不可欠な電力で、安全性が高まり短時間での始動が可能になります。

## 発電機の増大不要

始動中の大量の突入電流により、始動用の電気モーターと励磁用変圧器は最大200%大型化されています。誘導モーター始動と励磁補助を特徴とするDEIFのDVC 310は大型化させる必要性を最低限に抑えます。

## 性能の向上

アナログAVRと対比すると、DEIFのデジタルAVRは同一の周波数/電圧境界内でより多くの負荷ステップを処理します。通常、発電機は公称負荷10%の追加を許容します。搭載されているヘルプ機能と合わさって、これは性能を向上させます。

## 発電機を湿度から保護

稼働していないときの結露の問題は熱帯気候においてよくある問題です。専用の換気モードの付いたDVC 310は、オルタネーターのファンを使用して巻線内の湿気を除去し、発電に安全になって初めて始動が可能になります。

## 発電機制御ソリューション

DVC 310内蔵の通信ベースのJ1939は、DEIFの先進技術のコントローラーと通信する専用チャンネルを提供します。ディスプレイ、ブロードキャスト、予測メンテナンスに向けて大量のオルタネーターに関するデータを提供する本機能は市場で他に類を見ません。電圧調整に関するCANバスをベースの通信を使用することで、潜在的に障害の原因となるものの数を低減します。DVC 310を当社のAGC-4、AGC 200、GPC-3コントローラーと併用することで、メリットを最大化できます。

## DVC 310の特長

- ▶ しきい値での始動、ソフトスタート、並びに励磁前に閉鎖 (CBE) 機能の付いたスマート管理性能
- ▶ 電圧調整精度  $\pm 0.25\%$
- ▶ 専用のエンジンヘルプ機能を使用して発電機のパフォーマンスとサイズを最適化 (負荷受容モジュール、負の強制力、U/f、ソフト電圧復旧、固定し電流制限)
- ▶ 専用の乾燥および換気モード
- ▶ CANバスを通じた電圧調整
- ▶ 設定の精度向上
- ▶ 調整ループの一貫した制御

